

# 中城村 橋梁長寿命化修繕計画 (令和4年度改定)



(あがいでいだ橋)

令和5年2月



中城村 都市建設課

1. 中城村の概要	1
2. 長寿命化修繕計画の背景と目的	1
3. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	1
4. 長寿命化修繕計画の基本方針	2
5. 事業の効率化・費用の縮減に関する方針	2
6. 集約化・撤去に関する方針	2
7. 健全性の診断	3
8. 管理橋梁の状態及び点検結果について	3
9. 修繕優先度の設定	4
対象橋梁一覧	5
点検結果総括表	6
修繕優先度評価結果一覧	9
事業計画一覧	11

## 1. 中城村の概要

### (1) 気 候

中城村の気候は寒暖差が少なく、年平均気温は約23度と全国と比較して高い値となっている。春から夏に変わる時期に本土の「梅雨」にあたる「小満芒種（スーマンポーサー）」と呼ばれる沖縄独特の雨期（5月～6月）があり、梅雨明けと共に本格的な夏が訪れ台風期に入る。このことから、全国と比較しても降水量が多くなっている。

### (2) 地理的特徴

中城村は、沖縄本島中部にあって、那覇市から北東へ16kmの北緯26度5分、東経127度48分に位置し、西は宜野湾市、南は西原町、北は北中城村と接している。東は中城湾に面し、村の中央を南北に小起伏の丘陵が走り、南に糸蒲山、中央に上武当岳、北に台城岳が位置している。南北に7.5km、東西に3.5kmの長方形をなし総面積15.53㎢である。

中城村の地形は大別して平坦部、斜面部、台地部の三つで形成され、地質は古い頃から島尻層群、那覇石灰岩及び沖積層の三種類からなる。中城村の地形は、海側から国道329号までは比較的平坦であるが、国道329号から西側には、標高120m以上、比高100m以上の斜面が連続し、中城湾に面した東側斜面の大半が地すべり危険箇所とされている。

## 2. 長寿命化修繕計画の背景と目的

### (1) 背 景

中城村が管理する橋梁は、令和5年現在で49橋（橋長2m以上）で、そのうち15m以上の橋梁は11橋、15m未満の橋梁は38橋となります。

道路は村民生活を支える非常に重要な社会基盤であり、ネットワークが維持されてこそ、機能が発揮されます。しかしながら、これらの橋梁の大半が老朽化していくなかで、従来の対策療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕等に要する維持管理コストが増大すつものと考えられます。

### (2) 目 的

このような背景から、村民の安全で安心な生活を確保するため、従来の対症療法型の管理から、予防保全型の維持管理へと転換を図ることにより、橋梁の維持管理費の縮減を図るとともに、限られた予算の中で効率的かつ効果的に橋梁の維持管理を行い、健全な道路ネットワークを保全することを目的に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。

## 3. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級	2級	その他	合計
橋長15m以上	3	3	5	11
橋梁15m未満	16	7	15	38
合 計	19	10	20	49

## 4. 長寿命化修繕計画の基本方針

### (1) 健全度の把握の基本的方針

健全度の把握は、最新版の「道路橋定期点検要領」（国土交通省 道路局）に基づく点検を定期的を実施し、橋梁の損傷状況を踏まえ継続的に健全度の把握を行っていきます。

また、点検に当たっては30%の橋梁で新技術等の活用を検討し、費用の縮減や効率化に取り組むことを目標とします。

### (2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理としてパトロール等を実施し、橋梁の安全性を確認していきます。

### (3) 計画期間及び計画の見直し時期

当該橋梁長寿命化修繕計画の計画期間は令和5年度から令和14年度までの10年間とし、5年に1回の定期点検を踏まえて、適宜管理方針・評価の見直しを行います。

## 5. 事業の効率化・費用の縮減に関する方針

### (1) 費用の縮減に関する方針

損傷が深刻化してから大規模な修繕（架替え等）を行う事後保全から、損傷が軽微なうちに修繕を行う予防保全へと転換し、大規模な修繕・更新（架替え）の抑制によるLCC（ライフサイクルコスト）の縮減を図るための日常的な維持管理を検討し、今後10年間に係る費用を、35%縮減することを目標とします。

### (2) 新技術の活用

事業の効率化・費用の縮減を推進していくため、新技術を積極的に活用し、以下の取り組みを行います。

- 1) 点検の実施においては、新技術の活用可能性について検討を行い、コスト縮減など効果が認められる場合には、新技術の活用を図り10年間で約10%の縮減を目標とします。
- 2) 補修の実施においては、補修工法や補修材料に新技術適用を検討し、補修設計及び、施工時に積極的な活用を図り、10年間で約25%のコスト縮減を目標とします。

## 6. 集約化・撤去に関する方針

### (1) 橋梁の集約化・撤去

社会経済情勢や施設の利用状況の変化、施設周辺道路の整備状況に応じて、橋梁の集約化・撤去および機能縮小などによる費用縮減について、以下の取り組みの検討を行います。

- 1) 新設道路が完成した際には、周辺道路に架かる橋梁について、利用状況や迂回距離、災害時の避難、隣接家屋・施設等へのアクセス状況などを踏まえ、集約化・撤去の検討を行います。
- 2) 老朽化に伴う橋梁の更新検討においては、利用状況や迂回距離、災害時の避難、隣接家屋・施設等へのアクセス状況を踏まえ、集約化・撤去の検討を行います。

## 7. 健全性の診断

道路橋定期点検要領では、今後管理者が執るべき対策を判断するための総合的な評価である「健全性の診断」を行うこととなっており、この診断は、各損傷に対して維持・補修等の計画を検討する上で必要な評価となります。

表－1 健全性の診断における判定区分

区分		状態
I	健全	・ 損傷が認められないか、損傷があり補修の必要があるものの、損傷の原因、規模が明確であり、直ちに補修するほどの緊急性はなく、放置しても少なくとも次回の定期点検まで（＝5年程度以内）に構造物の安全性が著しく損なわれることはない判断できる状態。
II	予防保全段階	・ 損傷が進行しており、耐久性確保（予防保全）の観点から修繕計画に合わせながら適切な時期に補修等される必要があると判断できる状態。なお、橋梁構造の安全性の観点からは、直ちに補修するほどの緊急性はないもの。
III	早期措置段階	・ 損傷が相当程度進行し、当該部位、部材の機能や安全性の低下が著しく、橋梁構造の安全性の観点から劣化の状態や進行状況に合わせ早期（＝5年程度以内）に補修等される必要があると判断できる状態。
IV	緊急措置段階	・ 構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、即時通行規制や応急措置など、緊急に何らかの安全措置を行う必要がある状態。

## 8. 管理橋梁の状態及び点検結果について

令和5年2月現在

健全性		I		II		III	IV		計
対策区分		A	B	C1	M	C2	E1	E2	
種別	1級	1	11	7	0	0	0	0	19
	2級	2	6	1	0	1	0	0	10
	その他	2	10	5	0	3	0	0	20
区分計		5	27	13	0	4	0	0	49
計		32		13		4	0		49
割合		76.2%		21.4%		2.4%	0%		100%

### (1) 修繕措置の着手状況

完了予定5橋（令和5年度完了予定）

着手予定11橋（令和5年度1橋、令和6年度7橋、令和7年度3橋、着手予定）

## 9. 修繕優先度の設定

橋梁を効率的に維持管理していくため、対策を行う優先順位をルール化しました。優先順位は、各橋梁の「健全性」と「重要性」から判断します。

### (1) 橋梁の健全性

健全度の評価は点検結果をもとに、橋梁に求められる「耐荷性」「災害抵抗性」「走行安全性」で評価をします。

評価が同等な場合は、重要度の高いものを優先します。

### (2) 橋梁の重要性

重要性は、橋梁の諸元や架設環境、交差条件、路線の利用状況などから橋梁毎に評価をします。

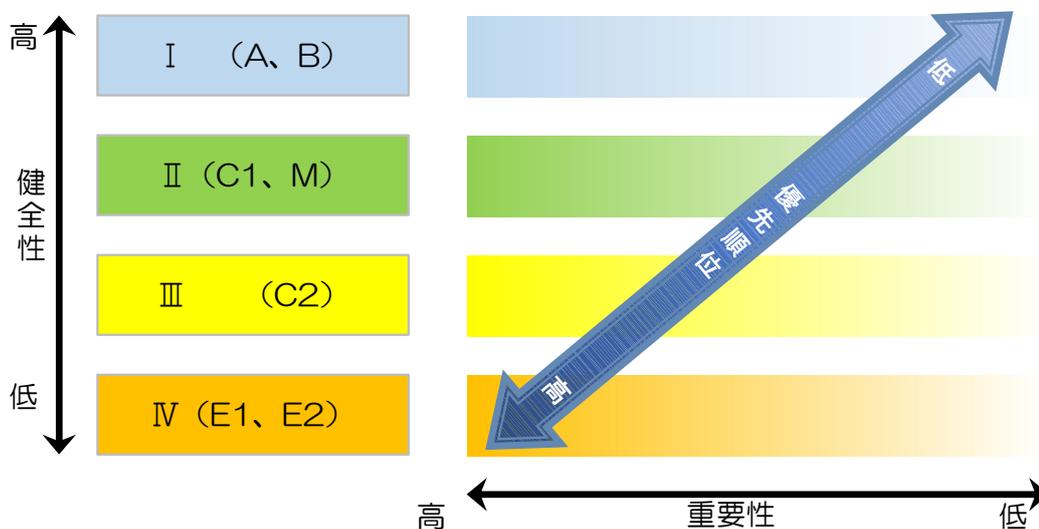
### (3) 修繕優先度の設定

修繕優先度は橋梁の損傷度評価点（損傷度＝100－健全度）と重要度評価点の合計で評価します。

なお、合計する場合は係数を設定しており損傷度に重みを置いて評価します。

（損傷度：重要度＝6（ $\alpha$ ）：4（ $\beta$ ））

$$\text{修繕優先度} = \alpha \times (100 - \text{健全度}) + \beta \times \text{重要度}$$



健全性と重要性を考慮した優先順位

### (4) 目標

橋梁のメンテナンスを定期的に行うことで健全な状態を保つことを目標とします。

No.	橋梁名・函渠名	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用 年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径間数	道路等級
1	潮垣線1号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.20	6.50	1	1級
2	潮垣線2号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	4.10	8.50	1	1級
3	潮垣線3号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.10	5.40	1	1級
4	潮垣線4号ボックス	潮垣線	字北浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	4.30	10.30	1	1級
5	潮垣線5号ボックス	潮垣線	字津覇	PCボックスカルバート	1980年	41年	2.30	6.40	1	1級
6	潮垣線6号ボックス	潮垣線	字津覇	RCボックスカルバート	1980年	41年	2.10	11.30	1	1級
7	潮垣線8号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1980年	41年	2.00	7.30	1	1級
8	潮垣線10号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.60	7.95	1	1級
9	潮垣線11号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.10	7.55	1	1級
10	潮垣線12号ボックス	潮垣線	字安里	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.10	7.40	1	1級
11	潮垣線13号ボックス	潮垣線	字安里	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.10	12.25	1	1級
12	潮垣線14号ボックス	潮垣線	字当間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.10	7.40	1	1級
13	潮垣線16号ボックス	潮垣線	字当間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.90	7.40	1	1級
14	潮垣線18号ボックス	潮垣線	字伊舎堂	PCボックスカルバート	1993年	28年	2.30	8.38	1	1級
15	潮垣線19号ボックス	潮垣線	字泊	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.30	19.50	1	1級
16	検地線1号ボックス	検地線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.60	5.80	1	2級
17	伊集和宇慶 旧県道線2号ボックス	伊集和宇慶 旧県道線	字和宇慶	RC床版橋+ RCボックスカルバート	2021年	0年	5.00	10.20	1	2級
18	津覇前原線1号ボックス	津覇前原線	字津覇	RC床版橋	1985年	36年	2.00	13.20	1	その他
19	津覇前原線2号ボックス	津覇前原線	字津覇	RC床版橋	1985年	36年	2.10	8.30	1	その他
20	奥間中央線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	PCボックスカルバート	1994年	27年	3.60	5.03	1	その他
21	奥間後線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	PCボックスカルバート	1994年	27年	2.60	7.64	1	2級
22	海平線1号ボックス	海平線	字奥間	RC床版橋	1993年	28年	2.80	4.40	1	その他
23	西坂田線の2号1号ボックス	西坂田線の2号	字北上原	RCボックスカルバート	1991年	30年	2.10	4.00	1	その他
24	あがいていた橋	歴史の道線	字南上原	ポステン中空床版橋	2007年	14年	31.80	4.05	1	その他
25	奥間1号橋	奥間中央線	字奥間	プレテン中空床版橋	2011年	10年	5.00	6.20	1	その他
26	南伸9号線1号橋	南伸9号線	字北上原	RC門型ラーメン橋	1985年	36年	5.20	5.00	1	その他
27	南伸10号線1号橋	南伸10号線	字北上原	RC床版橋	1985年	36年	8.30	3.00	1	その他
28	西坂田線の2号1号橋	西坂田線の2号	字北上原	RC床版橋	1991年	30年	10.50	1.90	1	その他
29	愛知線1号橋	愛知線	字北上原	門型カルバート	2021年	0年	6.00	4.00	1	2級
30	田又橋	赤道線	字南上原	RC単純T桁橋	1989年	32年	11.35	12.90	1	1級
31	石嶺橋	榕原線	字南上原	RC単純T桁橋	1987年	34年	11.80	6.70	1	2級
32	若南原の石橋	歴史の道線	字新垣	アーチ橋	1998年	33年	3.00	2.50	1	その他
33	新垣橋	新垣中央線	字新垣	プレテンPC単純T桁橋	1986年	35年	18.40	5.20	1	2級
34	大峰橋	サンヒルズ1号線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	1990年	29年	23.90	10.80	1	その他
35	登橋	大瀬線	字登又	プレテン単純中空床版橋	1984年	37年	13.25	6.20	1	2級
36	第1登栄橋	大瀬線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	2009年	12年	15.44	7.56	1	2級
37	第2登栄橋	大瀬線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	2009年	12年	15.82	7.47	1	2級
38	我謝橋	ウフクビリ線	字登又	プレテンPC単純T桁橋	1983年	35年	17.20	9.75	1	1級
39	フクビリ橋	歴史の道線	字登又	H形綱橋	2006年	15年	24.60	2.73	1	その他
40	久場前浜原線1号函渠	久場前浜原線	字泊	RCボックスカルバート	2016年	5年	3.10	42.00	1	その他
41	久場前浜原線2号函渠	久場前浜原線	字泊	RCボックスカルバート	2017年	4年	2.10	11.10	1	その他
42	久場前浜原線3号函渠	久場前浜原線	字久場	RCボックスカルバート	2018年	3年	2.10	12.40	1	その他
43	石畳橋	南伸6号線	字北上原	PCポストテンジョン 単純中空床版橋	1988年	33年	38.10	3.30	1	その他
44	がじゅまる橋	赤道線	字北上原	PCポストテンジョン 単純中空床版橋	1989年	32年	30.10	10.00	1	1級
45	山川橋	南伸7号線	字北上原	PCポストテンジョン 単純中空床版橋	1987年	34年	36.40	3.00	1	その他
46	西坂田橋	愛知線	字北上原	PCポストテンジョン 単純中空床版橋	1987年	34年	30.10	10.00	1	1級
47	新川線1号橋	新川線	字南上原	RC単純T桁橋	1980年	41年	5.60	3.90	1	2級
48	南伸1号線1号橋	南伸1号橋線	字登又	H形綱橋	1986年	35年	13.20	6.20	1	その他
49	泊浜原線1号ボックス	泊浜原線	字泊	RC溝橋(BOXカルバート)	1994年	28年	2.30	11.40	1	その他

点検結果総括表

点検結果一覧表

番号 (No.)	橋梁名・溝橋名	路線名	所在地	構造形式	架設年度	供用年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径間数	部材単位の診断(上部:橋梁 下部:溝橋)						主な変状と部材		橋梁毎の健全性の診断	対策区分の評価	点検年度
										主桁	横桁	床版	下部構造	支承部	その他	対象部材	変状の種類			
										頂版	側壁	底版	翼壁	継手						
1	潮垣線1号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.2	6.50	1	I(B)	I(A)	I(B)	-	-	II(M)	その他(舗装)	路面の凹凸	I	B	R4
2	潮垣線2号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	4.1	8.50	1	II(C1)	I(B)	I(A)	-	-	I(B)	頂版	ひびわれ	II	C1	R4
3	潮垣線3号ボックス	潮垣線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.1	5.40	1	I(B)	I(B)	I(A)	-	-	I(B)	頂版・側壁	ひびわれ	I	B	R4
4	潮垣線4号ボックス	潮垣線	字北浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	4.3	10.30	1	II(C1)	II(C1)	I(A)	-	-	II(M)	頂版・側壁	ひびわれ・うき・剥離・鉄筋露出	II	C1	R4
5	潮垣線5号ボックス	潮垣線	字津覇	RCボックスカルバート	1980年	41年	2.3	6.40	1	I(B)	I(A)	I(A)	-	I(B)	I(B)	頂版	施工不良	I	B	R4
6	潮垣線6号ボックス	潮垣線	字津覇	RCボックスカルバート	1980年	41年	2.1	11.30	1	II(C1)	I(A)	I(A)	-	I(B)	I(B)	頂版	剥離・うき	II	C1	R4
7	潮垣線8号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1980年	41年	2.0	7.30	1	I(A)	I(B)	I(A)	I(A)	-	I(B)	側壁	施工不良	I	B	R4
8	潮垣線10号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.6	7.95	1	I(B)	I(A)	II(C1)	I(A)	-	I(B)	底版	土砂蓄積	I	B	R4
9	潮垣線11号ボックス	潮垣線	字奥間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.1	7.55	1	I(A)	II(C1)	I(B)	I(A)	-	I(B)	側壁	変形・欠損・その他施工不良	I	B	R4
10	潮垣線12号ボックス	潮垣線	字安里	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.1	7.40	1	I(B)	I(B)	I(A)	I(A)	-	I(B)	頂版・側壁	施工不良	I	B	R4
11	潮垣線13号ボックス	潮垣線	字安里	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.1	12.25	1	I(B)	I(B)	I(A)	I(A)	-	I(A)	頂版	変形・欠損	I	B	R4
12	潮垣線14号ボックス	潮垣線	字当間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.1	7.40	1	I(A)	I(A)	I(A)	I(A)	-	I(B)	その他(舗装)	舗装の凹凸	I	A	R4
13	潮垣線16号ボックス	潮垣線	字当間	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.9	7.40	1	II(C1)	II(C1)	I(A)	I(A)	-	I(B)	頂版・側壁	ひびわれ・うき	II	C1	R4
14	潮垣線18号ボックス	潮垣線	字伊香堂	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.3	8.38	1	I(B)	I(B)	I(A)	I(A)	I(A)	I(B)	頂版・側壁	ひびわれ	I	B	R4
15	潮垣線19号ボックス	潮垣線	字泊	RCボックスカルバート	1993年	28年	2.3	19.50	1	II(C1)	I(B)	I(A)	I(A)	-	I(B)	頂版	ひびわれ・うき	II	C1	R4
16	検地線1号ボックス	検地線	字南浜	RCボックスカルバート	1980年	41年	3.6	5.80	1	I(A)	I(A)	I(B)	I(A)	-	I(B)	底版	土砂堆積	I	B	R4
17	伊集和宇慶 旧県道線2号ボックス	伊集和宇慶 旧県道線	字和宇慶	RC床版橋+ RCボックスカルバート	2021年	0年	5.0	10.20	1	I(B)	I(A)	I(A)	I(A)	I(A)	I(B)	頂版・側壁	漏水・遊離石灰	I	B	R4
18	津覇前原線1号ボックス	津覇前原線	字津覇	RC床版橋	1985年	36年	2.0	13.20	1	II(C1)	-	-	I(B)	-	I(B)	主桁	剥離・鉄筋露出	II	C1	R4
19	津覇前原線2号ボックス	津覇前原線	字津覇	RC床版橋	1985年	36年	2.1	8.30	1	III(C2)	-	-	II(C1)	-	II(C1)	主桁・下部工・その他(舗装)	うき・ひびわれ・剥離・鉄筋露出	III	C2	R4

## 点検結果総括表

点検結果一覧表

番号 (No.)	橋梁名・溝橋名	路線名	所在地	構造形式	架設年度	供用年数	橋長 [m]	幅員 [m]	径間数	部材単位の診断(上部:橋梁 下部:溝橋)						主な変状と部材		橋梁毎の健全性の診断	対策区分の評価	点検年度
										主桁 頂版	横桁 側壁	床版 底版	下部構 造 翼壁	支承部 継手	その他	対象部材	変状の種類			
20	奥間中央線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	PCボックスカルバート	1994年	27年	3.6	5.03	1	I(B)	I(B)	I(B)	I(A)	II(C1)	I(B)	継手(連結部)	漏水・遊離石灰	I	B	R4
21	奥間後線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	PCボックスカルバート	1994年	27年	2.6	7.64	1	I(A)	I(B)	I(A)	I(A)	-	I(B)	側壁	ひびわれ	I	B	R4
22	海平線1号ボックス	海平線	字奥間	RC床版橋	1993年	28年	2.8	4.40	1	II(C1)	-	-	I(B)	I(A)	I(B)	主桁	うき・剥離・鉄筋露出	II	C1	R4
23	西坂田線の2号1号ボックス	西坂田線の2号	字北上原	RCボックスカルバート	1991年	30年	2.1	4.00	1	I(A)	I(A)	I(A)	-	-	I(B)	その他(防護柵)	腐食・劣化	I	A	R4
24	あがいでいだ橋	歴史の道線	字南上原	ポステン中空床版橋	2007年	14年	31.8	4.05	1	I(B)	I(A)	I(A)	I(B)	I(A)	I(B)	主桁・下部工(胸部)	ひびわれ、剥離・鉄筋露出	I	B	R4
25	奥間1号橋	奥間中央線	字奥間	プレテン中空床版橋	2011年	10年	5.0	6.20	1	I(A)	I(A)	-	I(B)	I(A)	I(B)	下部工	漏水	I	A	R4
26	南伸9号線1号橋	南伸9号線	字北上原	RC門型ラーメン橋	1985年	36年	5.2	5.00	1	I(B)	-	-	I(B)	-	I(A)	主桁	変形・欠損	I	B	R4
27	南伸10号線1号橋	南伸10号線	字北上原	RC床版橋	1985年	36年	8.3	3.00	1	I(A)	-	-	I(A)	-	I(C1)	その他(舗装)	路面の凹凸	I	B	R4
28	西坂田線の2号1号橋	西坂田線の2号	字北上原	RC床版橋	1991年	30年	10.5	1.90	1	I(B)	-	-	I(A)	-	II(M)	その他(舗装)	土砂堆積	I	B	R4
29	愛知線1号橋	愛知線	字北上原	門型カルバート	2021年	0年	6.0	4.00	1	I(A)	-	I(A)	I(B)	-	I(A)	下部工	豆板	I	A	R4
30	田又橋	赤道線	字南上原	RC単純T桁橋	1989年	32年	11.4	12.90	1	I(B)	I(B)	I(B)	I(B)	I(A)	II(M)	主桁・横桁・床版	ひびわれ	I	B	R4
31	石嶺橋	榕原線	字南上原	RC単純T桁橋	1987年	34年	11.8	6.70	1	I(B)	I(B)	I(B)	I(B)	I(A)	II(M)	主桁・横桁・床版	ひびわれ	I	B	R4
32	若南原の石橋	歴史の道線	字新垣	アーチ橋	1998年	33年	3.0	2.50	1	I(B)	-	-	-	-	I(B)	主桁	ひびわれ	I	B	R4
33	新垣橋	新垣中央線	字新垣	プレテンPC単純T桁橋	1986年	35年	18.4	5.20	1	I(B)	I(A)	I(A)	I(B)	I(A)	II(M)	その他(舗装・防護柵)	路面の凹凸・ボルトのゆるみ・脱落	I	B	R4
34	大峰橋	サンヘルズ1号線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	1990年	29年	23.9	10.80	1	I(B)	I(A)	I(B)	I(B)	I(A)	II(C1)	主桁・床版	ひびわれ、漏水	I	B	R4
35	登橋	大瀬線	字登又	プレテン単純中空床版橋	1984年	37年	13.3	6.20	1	II(C1)	I(A)	I(B)	I(B)	I(A)	I(B)	主桁	ひびわれ	II	C1	R4
36	第1登栄橋	大瀬線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	2008年	12年	15.4	7.56	1	I(B)	I(A)	I(A)	I(A)	I(A)	I(B)	主桁	変形・欠損	I	B	R4
37	第2登栄橋	大瀬線	字登又	プレテンPC単純中空床版橋	2009年	12年	15.8	7.47	1	I(A)	I(A)	I(A)	I(A)	I(A)	I(B)	その他(地覆)	ひびわれ、欠損	I	A	R4
38	我謝橋	ウツクビリ線	字登又	プレテンPC単純T桁橋	1983年	35年	17.2	9.75	1	I(B)	I(B)	I(A)	I(B)	I(B)	II(C1)	その他(防護柵)	変形・欠損、破断	I	B	R4

点検結果総括表

点検結果一覧表

番号 (No.)	橋梁名・溝橋名	路線名	所在地	構造形式	架設年度	供用年数	橋長 [m]	幅員 [m]	登 間 数	部材単位の診断(上部:橋梁 下部:溝橋)						主な変状と部材		橋梁毎の 健全性の 診断	対策 区分 の評価	点検 年度
										主桁	橋桁	床版	下部構 造	支承部	その他	対象部材	変状の種類			
										主桁	側壁	底版	翼壁	継手	その他					
39	フクビリ橋	歴史の道線	字登又	H形鋼橋	2006年	15年	24.6	2.73	1	I(B)	I(A)	I(A)	I(A)	I(A)	II(M)	主桁	防食機能の劣化	I	B	R4
40	久堀前浜原線1号函渠	久堀前浜原線	字泊	RCボックスカルバート	2016年	5年	3.1	42.00	1	II(C1)	I(B)	I(B)	-	I(B)	I(B)	頂版	ひびわれ	II	C1	R4
41	久堀前浜原線2号函渠	久堀前浜原線	字泊	RCボックスカルバート	2017年	4年	2.1	11.10	1	I(A)	I(B)	I(A)	-	I(A)	I(A)	側壁	漏水	I	B	R4
42	久堀前浜原線3号函渠	久堀前浜原線	字久場	RCボックスカルバート	2018年	3年	2.1	12.40	1	I(A)	I(B)	I(B)	-	-	I(B)	底版	土砂堆積	I	B	R4
43	石置橋	南伸6号線	字北上原	PCボストテンジョン 単純中空床版橋	1988年	33年	38.1	3.30	1	II(C1)	-	II(C1)	I(B)	I(A)	II(M)	主桁	その他(補生)	II	C1	R3
44	がじゆまる橋	赤道線	字北上原	PCボストテンジョン 単純中空床版橋	1989年	32年	30.1	10.00	1	II(C1)	-	II(C1)	II(C1)	I(A)	II(M)	主桁	ひびわれ (詳細調査)	II	C1	R3
45	山川橋	南伸7号線	字北上原	PCボストテンジョン 単純中空床版橋	1987年	34年	36.4	3.00	1	II(C1)	-	-	I(B)	I(A)	II(C1)	主桁	ひびわれ (詳細調査)	II	C1	R3
46	西坂田橋	愛知線	字北上原	PCボストテンジョン 単純中空床版橋	1987年	34年	30.1	10.00	1	II(C1)	-	II(C1)	II(M)	I(A)	II(C1)	主桁	ひびわれ (詳細調査)	II	C1	R3
47	新川線1号橋	新川線	字南上原	RC単純桁橋	1980年	41年	5.6	3.90	1	III(C2)	-	-	II(C1)	-	II(C1)	主桁	剥離・鉄筋露出	III	C2	R3
48	南伸1号線1号橋	南伸1号橋線	字登又	H形鋼橋	1986年	35年	13.2	6.20	1	III(C2)	III(C2)	III(G2)	I(B)	II(C1)	III(C2)	主桁	腐食・腐状剥離 板厚減少	III	C2	H29
49	泊浜原線1号ボックス	泊浜原線	字泊	RC溝橋(BOXカルバート)	1994年	28年	2.3	11.40	1	III(C2)	III(C2)	I(B)	I(B)	II(C1)	III(C2)	頂版	剥離・鉄筋露出 鉄筋破断	III	C2	R4

判定区分: I (健全)

・損傷があり補修の必要があるもの、損傷の原因、規模が明確であり、直ちに補修するほどの緊急性がなく、放置しても少なくとも次回の定期点検まで(=5年程度以内)に構造物の安全性が著しく損なわれないと判断できる状態。

判定区分: II (予防保全段階)

・損傷が進行しており、耐久性確保(予防保全)の観点から修繕計画に合わせながら適切な時期に補修等される必要があると判断できる状態。なお、橋梁構造の安全性の観点からは、直ちに補修するほどの緊急性はないもの。

判定区分: III (早期措置段階)

・損傷が相当程度進行し、当該部位、部材の機能や安全性の低下が著しく、橋梁構造の安全性の観点から劣化の状態や進行状況に合わせ早期に補修等される必要があると判断できる状態。

判定区分: IV (緊急措置段階)

・即時の通行規制や応急措置など、即時に何らかの安全措置を行う必要がある状態。

表-1 橋梁定期点検要領における対策区分の判定区分

健全性	対策区分	判定の内容	
		区分	判定の内容
I	A		損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
	B		状況に応じて補修を行う必要がある。
II	C1		予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
	M		維持工事で対応する必要がある。
III	C2		橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
	E1		橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
IV	E2		その他、緊急対応の必要がある。
	S1		詳細調査の必要がある。
	S2		追跡調査の必要がある。

修繕優先度評価結果一覧  
修繕優先度評価点 = (100 - 健全度評価点) × 0.6 + 重要度評価点 × 0.4

修繕優先順位	橋梁名・溝橋名	路線名称	所在地	架設年次	供用年数	径間数	橋長 (m)	健全性の毎の診断	対策区分の評価	各重要度評価項目の評価点								各評価指標の評価点			健全度順位	健全度評価点	修繕優先度	
										緊急輸送施設(アセ道路)	バス路線	迂回路の有無	塩害地域	竣工年時	橋長	立地条件	重要度評価点	重要度順位	耐荷性	災害抵抗性				走行安全性
1	泊浜原線1号ボックス	泊浜原線	字泊	1994年	29年	1	2.30	Ⅲ	C2	0.0	0.0	0.0	12.0	5.0	0.0	0.0	17.0	36	42.00	44.00	54.00	45.20	2	39.68
2	南伸1号線1号橋	南伸1号橋線	字登又	1988年	35年	1	13.20	Ⅲ	C2	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	8.0	36	20.40	46.40	74.00	41.50	1	38.30
3	津覇前原線2号ボックス	津覇前原線	字津覇	1985年	36年	1	2.10	Ⅲ	C2	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	11.0	27	48.00	64.00	66.00	58.00	3	29.60
4	がじゅまる橋	赤道線	字北上原	1989年	32年	1	30.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	14.0	23	59.00	69.00	51.00	61.40	5	28.76
5	新川線1号橋	新川線	字南上原	1980年	41年	1	5.60	Ⅲ	C2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	30	51.00	64.00	67.00	59.40	4	28.36
6	西坂田橋	愛知線	字北上原	1987年	34年	1	30.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	9.0	35	58.00	78.00	46.00	63.60	6	25.44
7	潮垣線16号ボックス	潮垣線	字当間	1993年	28年	1	2.90	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	74.00	72.00	86.00	75.60	9	22.64
8	潮垣線6号ボックス	潮垣線	字津覇	1980年	41年	1	2.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	5.0	6.0	5.0	0.0	0.0	25.0	1	76.00	82.00	80.70	79.34	14	22.40
9	潮垣線4号ボックス	潮垣線	字北浜	1980年	41年	1	4.30	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	76.00	82.00	72.70	77.74	11	21.36
10	潮垣線2号ボックス	潮垣線	字南浜	1980年	41年	1	4.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	74.00	82.00	86.00	79.60	15	20.24
11	潮垣線19号ボックス	潮垣線	字泊	1993年	28年	1	2.30	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	77.00	82.00	87.00	81.00	16	19.40
12	山川橋	南伸7号線	字北上原	1987年	34年	1	36.40	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	8.0	36	74.00	82.00	56.00	73.60	7	19.04
13	我謝橋	ウ阿克ベリ線	字登又	1983年	35年	1	17.20	Ⅰ	B	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	19.0	17	83.50	87.90	67.90	82.14	20	18.32
14	石量橋	南伸6号線	字北上原	1988年	33年	1	38.10	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	30	79.00	84.00	57.00	76.60	10	18.04
15	津覇前原線1号ボックス	津覇前原線	字津覇	1985年	36年	1	2.00	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	11.0	27	74.00	82.00	80.00	78.40	12	17.36
16	田又橋	赤道線	字南上原	1989年	32年	1	11.35	Ⅰ	B	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	14.0	23	85.70	84.30	66.30	81.26	18	16.84
17	潮垣線3号ボックス	潮垣線	字南浜	1980年	41年	1	3.10	Ⅰ	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	86.00	86.00	82.70	85.34	25	16.80
18	登橋	大瀬線	字登又	1984年	37年	1	13.25	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	30	76.20	84.90	72.60	78.96	13	16.62
19	新垣橋	新垣中央線	字新垣	1988年	35年	1	18.40	Ⅰ	B	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	0.0	18.0	18	88.50	88.80	66.90	84.30	23	16.62
20	潮垣線18号ボックス	潮垣線	字伊香堂	1993年	28年	1	2.30	Ⅰ	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	87.00	86.00	83.00	85.80	28	16.52
21	潮垣線1号ボックス	潮垣線	字南浜	1980年	41年	1	3.20	Ⅰ	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	88.00	86.00	81.30	85.86	29	16.48
22	海平線1号ボックス	海平線	字奥間	1993年	28年	1	2.80	Ⅱ	C1	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	40	72.00	72.00	85.30	74.66	8	16.40
23	潮垣線10号ボックス	潮垣線	字奥間	1993年	28年	1	2.60	Ⅰ	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	88.00	86.00	83.30	86.26	30	16.24
24	潮垣線11号ボックス	潮垣線	字奥間	1993年	28年	1	2.10	Ⅰ	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	88.50	86.00	83.50	86.50	31	16.10
25	潮垣線13号ボックス	潮垣線	字安里	1993年	28年	1	2.10	Ⅰ	B	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	20.0	2	85.00	84.00	97.00	87.00	32	15.80

修繕優先度評価結果一覧  
修繕優先度評価点 = (100 - 健全度評価点) × 0.6 + 重要度評価点 × 0.4

修繕優先順位	橋梁名・溝橋名	路線名称	所在地	架設年次	供用年数	径間数	橋長 (m)	健全性の毎の診断	対策区分の評価	各重要度評価項目の評価点								各評価指標の評価点			健全度評価点	健全度順位	修繕優先度		
										緊急アクセス施設(道路)	バス路線	迂回路の有無	塩害地域	竣工年時	橋長	立地条件	重要度評価点	重要度順位	耐荷性	災害抵抗性				走行安全性	
26	あがいた橋	歴史の道線	字南上原	2007年	14年	1	31.80	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	5.0	0.0	20.0	2	88.50	87.30	84.20	87.16	33	15.70
27	若南原の石橋	歴史の道線	字新垣	1998年	33年	1	3.00	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	5.0	0.0	17.0	19	84.00	86.00	88.00	85.60	27	15.44
28	潮垣線12号ボックス	潮垣線	字安里	1993年	28年	1	2.10	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	5.0	0.0	20.0	2	88.50	86.00	89.50	87.70	35	15.38
29	石嶺橋	箱原線	字南上原	1987年	34年	1	11.80	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	30	84.70	86.30	65.00	81.40	19	15.16
30	大峰橋	サンヒルズ1号線	字登又	1990年	29年	1	23.90	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	5.0	0.0	11.0	27	84.30	89.40	66.40	82.76	22	14.74
31	フクビリ橋	歴史の道線	字登又	2006年	15年	1	24.60	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	5.0	0.0	17.0	19	87.00	88.70	92.30	88.74	36	13.56
32	潮垣線5号ボックス	潮垣線	字津覇	1980年	41年	1	2.30	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	5.0	0.0	20.0	2	90.00	96.00	84.00	91.20	37	13.28
33	潮垣線8号ボックス	潮垣線	字奥間	1980年	41年	1	2.00	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	5.0	0.0	20.0	2	96.00	90.00	84.70	91.34	38	13.20
34	伊集和宇慶 旧東道線2号ボックス	伊集和宇慶 旧東道線	字和宇慶	2021年	0年	1	5.00	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	30	86.00	86.00	82.70	85.34	25	12.80
35	南伸9号線1号橋	南伸9号線	字北上原	1985年	36年	1	5.20	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	8.0	36	84.00	86.00	82.00	84.40	24	12.56
36	西坂田線の2号1号橋	西坂田線の2号	字北上原	1991年	30年	1	10.50	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	38	86.00	76.00	88.70	82.54	21	12.48
37	奥間中央線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	1994年	27年	1	3.60	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	5.0	0.0	11.0	27	87.00	86.00	91.00	87.40	34	11.96
38	久場前浜原線1号函渠	久場前浜原線	字泊	2016年	5年	1	3.10	II	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43	76.00	83.30	87.30	81.20	17	11.28
39	検地線1号ボックス	検地線	字南浜	1980年	41年	1	3.60	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	5.0	0.0	16.0	21	98.00	90.00	85.30	92.26	41	11.04
40	奥間後線1号ボックス	奥間中央線	字奥間	1994年	27年	1	2.60	I	B	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	5.0	0.0	16.0	21	97.00	90.00	91.00	93.00	42	10.60
41	潮垣線14号ボックス	潮垣線	字当間	1993年	28年	1	2.10	I	A	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	5.0	0.0	20.0	2	100.00	100.00	92.00	98.40	47	8.96
42	第1登栄橋	大瀬線	字登又	2009年	12年	1	15.44	I	B	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	5.0	13.0	25	90.00	99.80	99.90	95.90	46	7.66
43	愛知線1号橋	愛知線	字北上原	2021年	0年	1	6.00	I	A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	30	97.00	90.00	99.00	94.60	44	7.24
44	奥間1号橋	奥間中央線	字奥間	2011年	10年	1	5.00	I	A	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	40	97.00	90.00	85.00	91.80	39	6.12
45	第2登栄橋	大瀬線	字登又	2009年	12年	1	15.82	I	A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	12.0	26	100.00	100.00	92.00	98.40	47	5.76
46	久場前浜原線3号函渠	久場前浜原線	字久場	2018年	3年	1	2.10	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43	94.00	90.00	92.00	92.00	10	4.80
47	久場前浜原線2号函渠	久場前浜原線	字泊	2017年	4年	1	2.10	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43	96.00	90.00	98.70	94.14	43	3.52
48	西坂田線の2号1号ボックス	西坂田線の2号	字北上原	1991年	30年	1	2.10	I	A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	38	100.00	100.00	94.00	98.80	49	2.72
49	南伸10号線1号橋	南伸10号線	字北上原	1985年	36年	1	8.30	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42	100.00	100.00	78.00	95.60	45	2.64

事業計画一覧

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m <sup>2</sup> )	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	最新 点検 年次	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)										備考	
											2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年		2032年
											R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		R14
1	49 治波原線1号ボックス	治波原線	2.3	11.4	262	1994年	28年	R4	III	早期措置段階	240	240	1,300	9,700	240	240					令和6年度 補修事業着手予定	
2	48 南伸1号線1号橋	南伸1号線	13.2	6.2	81.8	1986年	35年	H29	III	早期措置段階	43,458		520				520				令和7年度 更新事業完了予定	
3	19 津藪前原線2号ボックス	津藪前原線	2.1	8.3	17.4	1985年	36年	R4	III	早期措置段階	240		400	4,150	240	240					令和6年度 補修事業着手予定	
4	44 がじめまる橋	赤道線	30.1	10.0	301.0	1989年	32年	R3	II	予防保全段階	2,687	8,300			900				900		令和5年度 補修事業完了予定	
5	47 新川線1号橋	新川線	5.6	3.9	21.8	1980年	41年	R3	III	早期措置段階		31,735			360					360		令和5年度 更新事業完了予定
6	46 西坂田橋	愛知線	30.1	10.0	301.0	1987年	34年	R3	II	予防保全段階	2,687	8,300			900					900		令和5年度 補修事業完了予定
7	13 湖垣線16号ボックス	湖垣線	2.9	7.4	21.5	1993年	28年	R4	II	予防保全段階	210	100	1,020			210					210	令和6年度 補修事業着手予定
8	6 湖垣線6号ボックス	湖垣線	2.1	11.3	23.7	1980年	41年	R4	II	予防保全段階	240		140	1,400		240					240	令和6年度 補修事業着手予定
9	4 湖垣線4号ボックス	湖垣線	4.3	10.3	44.3	1980年	41年	R4	II	予防保全段階	210		180	1,800		210					210	令和6年度 補修事業着手予定
10	2 湖垣線2号ボックス	湖垣線	4.1	8.5	34.9	1980年	41年	R4	II	予防保全段階	240		170	1,750		240					240	令和6年度 補修事業着手予定
11	15 湖垣線19号ボックス	湖垣線	2.3	19.5	44.9	1993年	28年	R4	II	予防保全段階	240		110	1,160		240					240	令和6年度 補修事業着手予定
12	45 山川橋	南伸7号線	36.4	3.0	108.2	1987年	34年	R3	II	予防保全段階	2,687	8,300			900					900		令和5年度 補修事業完了予定
13	38 我掛橋	ウツクビリ線	17.2	9.8	167.7	1983年	35年	R4	I	措置不要	580					580					580	

事業計画一覧

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m <sup>2</sup> )	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	最新 点検 年次	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)										備考	
											2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年		2032年
											R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		R14
14	43	石壘橋	38.1	3.3	125.7	1985年	33年	R3	II	予防保全段階	140	1,400			360					360		令和5年度 補修事業完了予定
15	18	津覇前原線1号ボックス	2.0	13.2	26.4	1985年	36年	R4	II	予防保全段階	240		320	800	240						240	令和7年度 補修事業着手予定
16	30	田又橋	11.4	12.9	146.4	1989年	32年	R4	I	措置不要	520				520						520	
17	3	湖沼線3号ボックス	3.1	5.4	16.7	1980年	41年	R4	I	措置不要	210				210						210	
18	35	登橋	13.3	6.2	82.2	1984年	37年	R4	II	予防保全段階	490		230	2,380	490	490					490	令和6年度 補修事業着手予定
19	33	新垣橋	18.4	5.2	95.7	1986年	35年	R4	I	措置不要	530				530						530	
20	14	湖沼線18号ボックス	2.3	8.4	19.3	1993年	28年	R4	I	措置不要	230					230					230	
21	1	湖沼線1号ボックス	3.2	6.5	20.8	1980年	41年	R4	I	措置不要	210				210						210	
22	22	海平線1号ボックス	2.8	4.4	12.3	1993年	28年	R4	II	予防保全段階	210		70	730	210	210					210	令和7年度 補修事業着手予定
23	8	湖沼線10号ボックス	2.6	8.0	20.7	1993年	28年	R4	I	措置不要	210				210						210	
24	9	湖沼線11号ボックス	2.1	7.6	15.9	1993年	28年	R4	I	措置不要	210				210						210	
25	11	湖沼線13号ボックス	2.1	12.3	25.7	1993年	28年	R4	I	措置不要	240				240						240	
26	24	あがいでいだ橋	31.8	4.1	128.8	2007年	14年	R4	I	措置不要	640				640						640	

事業計画一覧

修繕 優先 順位	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	幅員 (m)	橋面積 (m <sup>2</sup> )	架設 年次	供用 年数 2021年 現在	最新 点検 年次	橋梁毎の 健全性の 診断	措置状況	事業費(千円)										備考					
											2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年		2032年				
											R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		R14				
27	32 若南風の石橋	歴史の道線	3.0	2.5	7.5	1998年	33年	R4	I	措置不要	230	定期点検	230	定期点検									2032年 R14	定期点検		
28	10 潮垣線1号ボックス	潮垣線	2.1	7.4	15.5	1993年	28年	R4	I	措置不要	210	定期点検	210	定期点検										210	定期点検	
29	31 石嶺橋	榕蔭線	11.8	6.7	79.1	1987年	34年	R4	I	措置不要	490	定期点検	490	定期点検										490	定期点検	
30	34 大峰橋	サンテレビ1号線	23.9	10.8	258.1	1990年	29年	R4	I	措置不要	660	定期点検	660	定期点検											660	定期点検
31	39 フクビリ橋	歴史の道線	24.6	2.7	67.2	2006年	15年	R4	I	措置不要	560	定期点検	560	定期点検											560	定期点検
32	5 潮垣線5号ボックス	潮垣線	2.3	6.4	14.7	1980年	41年	R4	I	措置不要	210	定期点検	210	定期点検											210	定期点検
33	7 潮垣線6号ボックス	潮垣線	2.0	7.3	14.6	1980年	41年	R4	I	措置不要	210	定期点検	210	定期点検											210	定期点検
34	17 伊集和宇摩旧東道線*カス	伊集和宇摩 旧東道線	5.0	10.2	51.0	2021年	0年	R4	I	措置不要	240	定期点検	240	定期点検											240	定期点検
35	26 南伸9号線1号橋	南伸9号線	5.2	5.0	26.0	1985年	36年	R4	I	措置不要	250	定期点検	250	定期点検											250	定期点検
36	28 西坂田線の2号1号橋	西坂田線の2号	10.5	1.9	20.0	1991年	30年	R4	I	措置不要	230	定期点検	230	定期点検											230	定期点検
37	20 奥間中央線1号ボックス	奥間中央線	3.6	5.0	18.1	1994年	27年	R4	I	措置不要	210	定期点検	210	定期点検											210	定期点検
38	16 検地線1号ボックス	検地線	3.6	5.8	20.9	1980年	41年	R4	I	措置不要	210	定期点検	210	定期点検											210	定期点検
39	21 奥間後線1号ボックス	奥間中央線	2.6	7.6	19.9	1994年	27年	R4	I	措置不要	210	定期点検	210	定期点検											210	定期点検

